
次期総合計画の策定方針について

令和元年11月 湖西市

次期総合計画の策定方針について

2040年問題

2040年の湖西市は

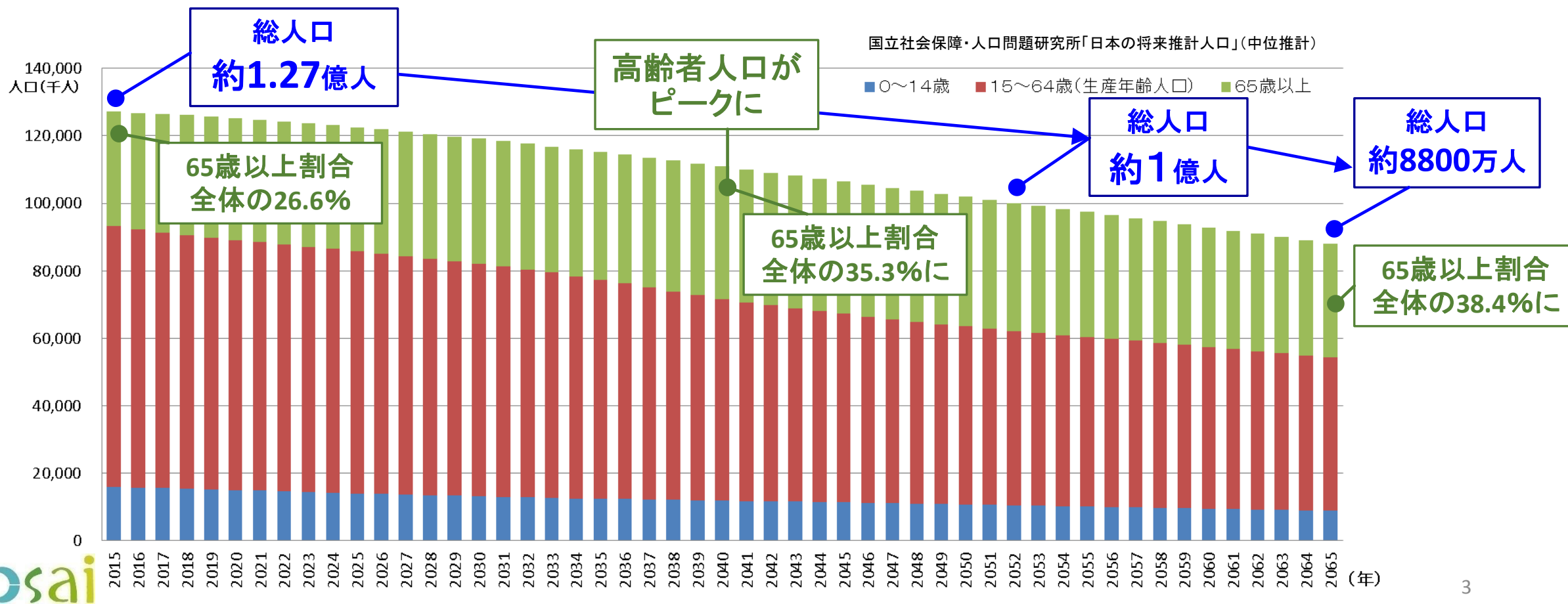
総合計画とは

次期総合計画の策定方針

市民ワーキンググループの結果

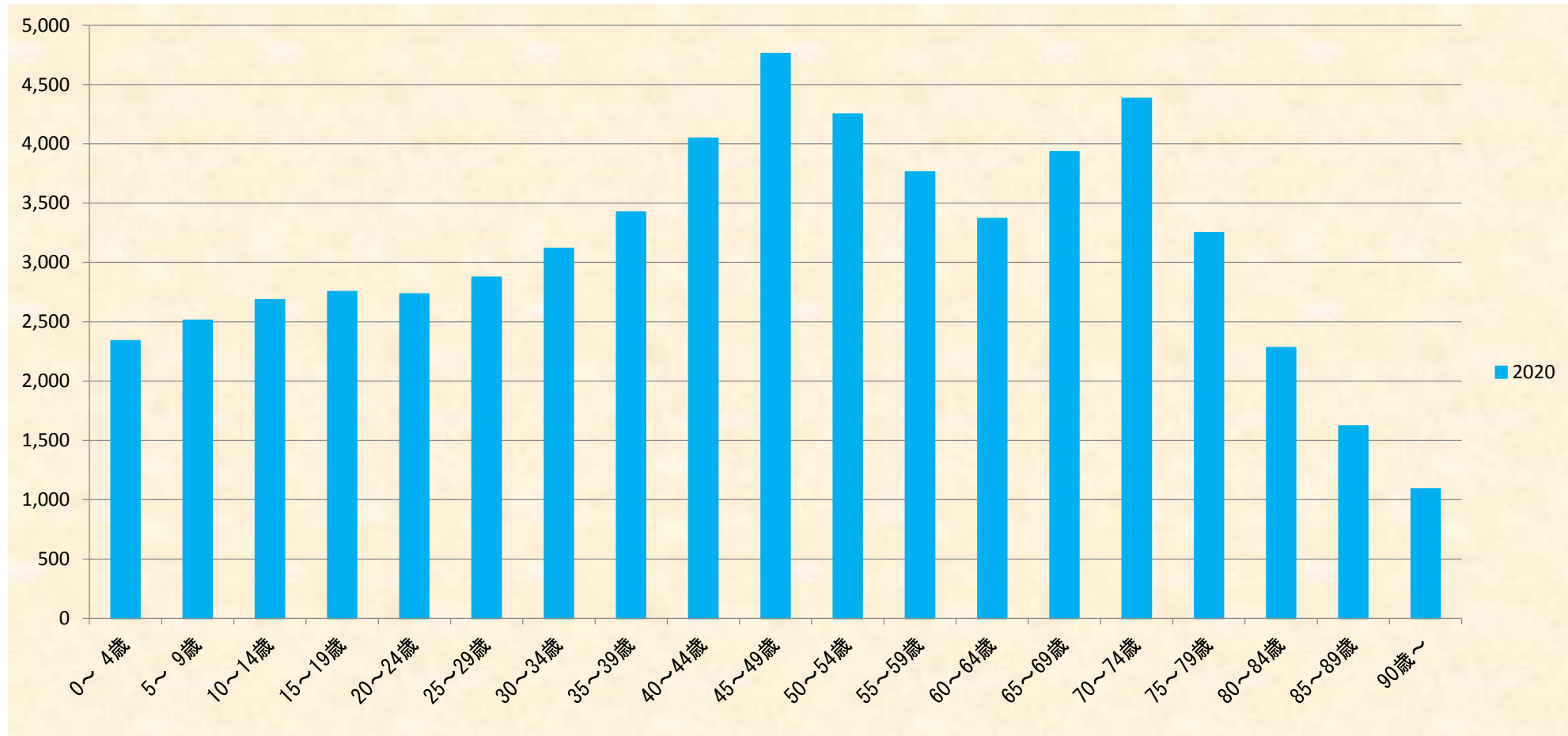
2040年問題

団塊ジュニア世代が65歳以上となり、
高齢者人口がピークを迎える年



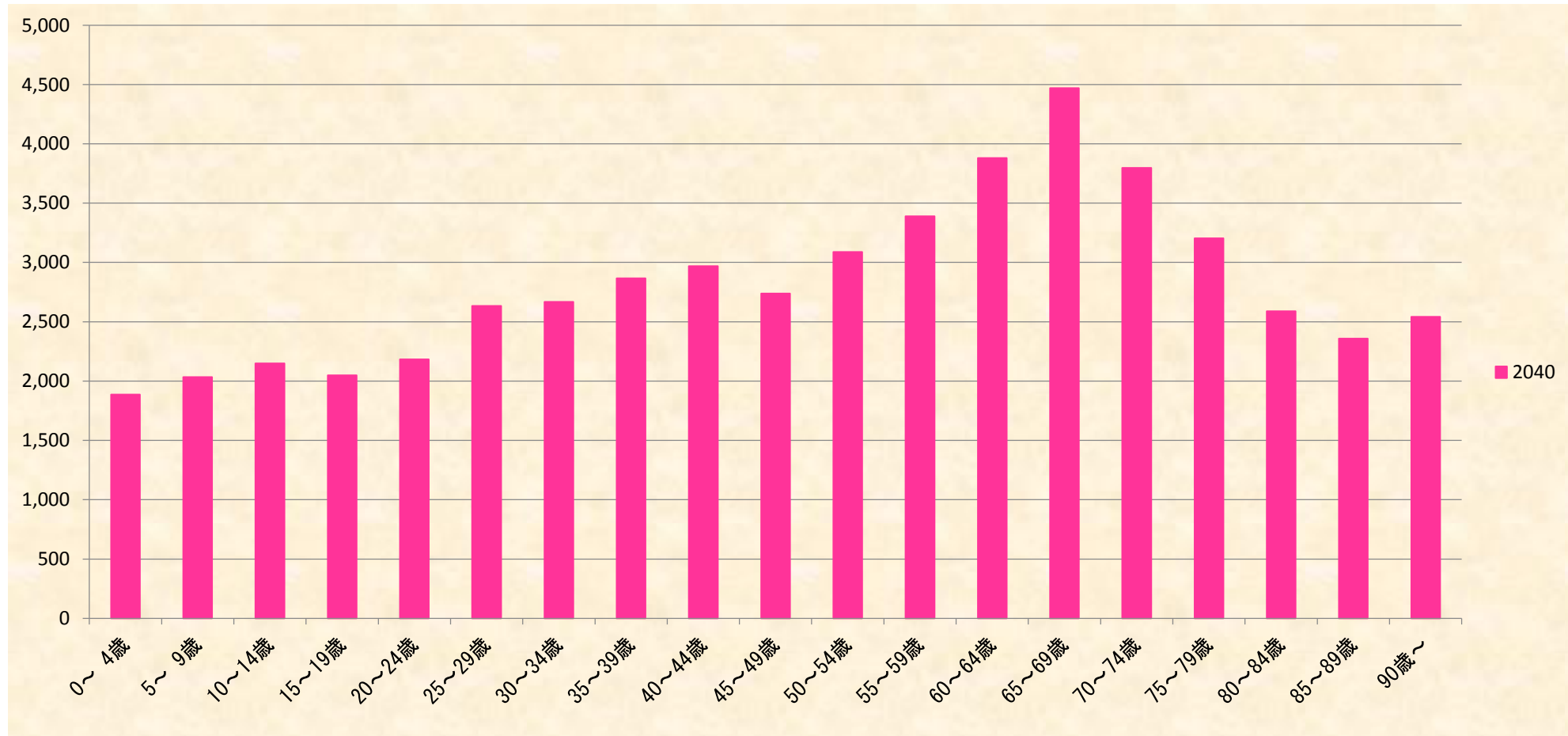
2040年の湖西市は

湖西市の人口推計⇒人口減少はこのままでは避けられない



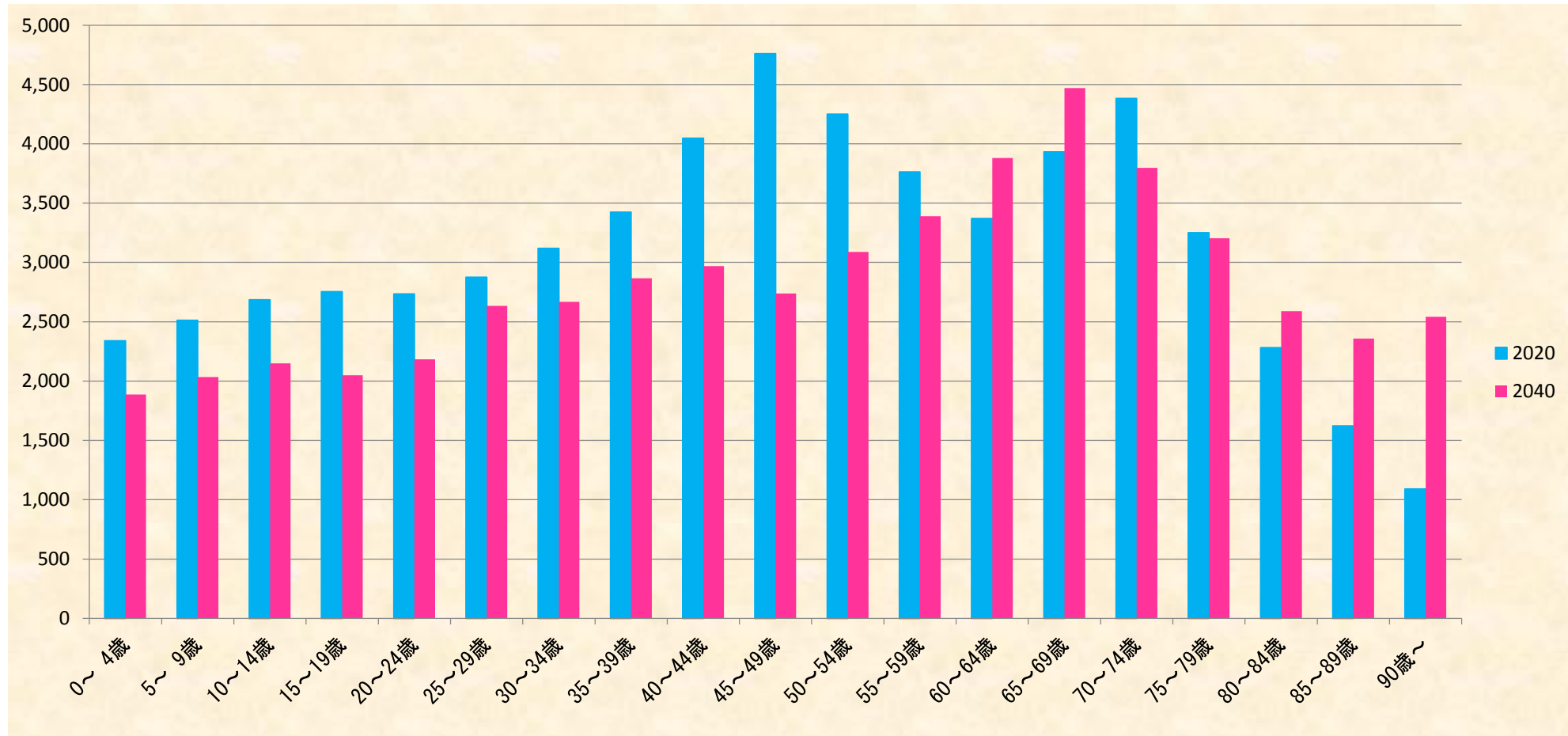
2040年の湖西市は

湖西市の人口推計⇒人口減少はこのままでは避けられない



2040年の湖西市は

湖西市の人口推計⇒人口減少はこのままでは避けられない



2040年問題

サービスの需要と供給

- ・人口減による需要の減→サービスの持続に影響
- ・生産年齢人口減(人材減)によるサービス供給の減
- ・85歳以上人口、単身高齢世帯の増加により、多様な場面において生活を支えるサービスの需要増

- ・支えを必要とする人が増加する一方で支える人が減少するギャップにより、多様な分野において課題が顕在化していく。

2040年問題

インフラ・空間

- ・人口増加期に集中的に整備してきたインフラが老朽化していくことで更新需要が高まる。
- ・人口減により、公共施設、公営企業、公共交通等を利用し、その負担を分かち合う住民が減少していく。

- ・インフラの更新需要が高まる一方、利用者や管理する人材が減少するギャップにより、課題が顕在化していく。

2040年の湖西市は

- 人口減（生産年齢人口の減）による市民税等の減少
- 老年人口増による社会保障費の増大
年3～4%増加（毎年8,000万円ずつ増加）
- インフラの維持管理費が増加し、更新費も必要に

2040年の湖西市は

・少子高齢化のギャップが財政に及ぼす影響は今後ますます大きくなることが想定される。

→将来に渡り持続可能な行政運営ができるように、

①財源の確保策(人口減少対策、稼ぐ力)

②限られた資源(人財、施設、予算)を重要度の高い課題に効果的、集中的に投資

総合計画とは

- ・湖西市の最も基本となる計画
- ・総合計画をみれば、湖西市がどんなまちを目指しているのかがわかる
- ・中長期的な計画

次期総合計画の策定方針

- ・2040年のまちの姿に市全体として共通の理解と理想を。
- ・そのうえで、長期的な視点で対策を。
- ・施策、事業の優先順位を。
(あれもこれも→→これだけは！)

次期総合計画の策定方針

- 基本構想

 - まちの将来像

 - 将来像への道しるべ

 - 将来人口

 - 土地利用構想

- 基本計画

 - 施策を体系化し、方向性を示す

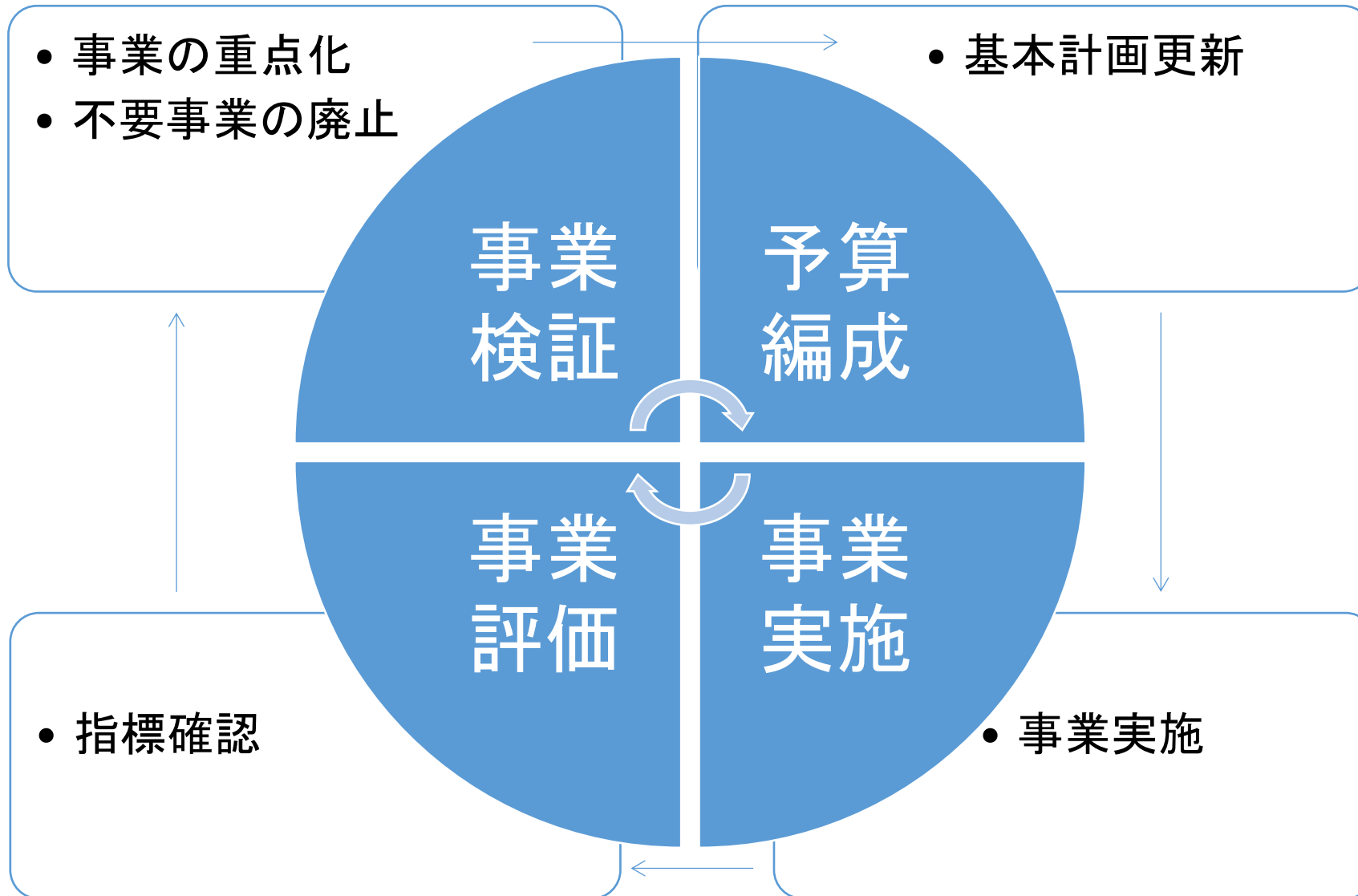
 - (現況・課題、市民ニーズ、主な事業内容、施策指標など)

次期総合計画の策定方針

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
基本構想	13年間												
基本計画	Ⅰ期 5年間					Ⅱ期 4年間				Ⅲ期 4年間			
指標					→								
市長の任期					→					→			
					次期 計画 策定				次期 計画 策定				次期 計画 策定

- ・2040年のまちの将来像を明確にし、バックキャスト式で、13年間の計画を整理する。

次期総合計画の策定方針



次期総合計画の策定方針

① シンプルでわかりやすく、具体的に

- ・ 3層構造から2層構造へ

② 市長の方針と整合

- ・ 計画期間を市長任期と連動させる

次期総合計画の策定方針

③ 厳しい財政状況の中、適正な行政経営を

- ・ 重点施策、重点事業の設定

④ SDG'sの考えを反映

- ・ 第Ⅰ期、第Ⅱ期の基本計画にSDGsの考えを反映